

山崎 太一 様

作成日：2018年1月15日  
計算基準日：2018年1月15日

# サンプル

安定した老後資金を確保するために  
(ご提案書)

本提案書は「提案書作成ツール」をもとに、作成した場合の「サンプル」です。  
一部、記載内容を省略している箇所もございます。

参考資料：日本FP協会発行「提案書の作り方」第4版

AFP認定者 協会 太郎

# 目次

プラン作成にあたって	<3>
I. 山崎様ご一家のプロフィール	<4>
1. ご家族の構成	
2. 現在の山崎様の収入と支出の状況	
3. 今後の山崎様の収入と支出の状況	
4. 金融資産	
5. 負債(住宅ローン)	
6. 保険契約	
II. 山崎様のご希望・プラン作成の目的	<9>
III. 山崎家のライフイベント表	<10>
IV. 現状のキャッシュフロー表	<11>
現在の年間収支と貯蓄残高の推移	<12>
V. 現状の問題点	<13>
VI. 問題点に対する解決策	<14>
VII. 解決策導入の効果	<15>
VIII. 解決策導入後のキャッシュフロー表	<16>
対策後の年間収支と貯蓄残高の推移	<17>
おわりに	<18>

## プラン作成にあたって

このたびは、山崎様の60歳以降の働き方とリタイアメントプランニングのご依頼をいただきまして、ありがとうございました。現在の日本では60歳といっても、まだまだ元気で、楽しみながら幸せなセカンドライフを過ごしたいと考えている方が多いものです。しかし、楽しいセカンドライフを思い描く一方で、多くのメディアが老後不安を増長させるような表現で報道している傾向を感じるかもしれません。平均寿命、平均余命の延び、そして介護への不安。将来のことは現時点でわからないために、つい不安に感じてしまいがちですが、現在の状況をきちんと把握することで、将来の不安が解消される可能性もあります。確かに老後資金は、いくら必要になるかがわからないため、不安に思うことがおありかと存じます。そのためにも、この先30年間の収入と支出を把握することで、長期にわたるお金の流れを目に見えるようにいたしました。まずは、現状のまま生活を続けていくことが可能かどうか、難しいのであればどのように対処する方法があるのかということを考えてまいりましょう。

本提案書におきましては、山崎様からお聞きした情報、ご提供いただきました資料をもとに、まずは山崎様の現状を整理いたしました。続きまして、山崎様のご希望、目標を整理して、現状の分析を行ったうえで問題点を指摘し、さらにその対策を考えていくという順序で記載しております。山崎様と一緒に今後のライフプランを考えることで、心配事や不安なことを少しでも取り除き、より豊かなセカンドライフを快適に過ごしていただくことを基本として作成いたしました。

山崎様の今後の生活資金や住まいについて、生命保険の保険料の支払いについてなどさまざまなケースを想定しています。確かに現状のまま推移すると仮定した場合、少々厳しい面もあるかもしれません。しかし、現時点で問題点を把握し、その対策を立てて実行することにより、解決できることも多いものです。

山崎様にとって、幸せなセカンドライフを送るために、今から優先順位をつけて対策に取り組んでまいりましょう。いくつかの解決策を作成いたしましたのでご提案申し上げます。

ご提案されていただきました内容について、ご希望や不明な点等ございましたら、どうぞご遠慮なくお申し付けください。山崎様のセカンドライフをよりよいものにしてまいりましょう。

2018年1月15日

AFP認定者

協会 太郎

東京都●●区○○△△××

電話 03-××××-××××

FAX 03-××××-××××

電子メール ××××@△△△.ne.jp

# I. 山崎様ご一家のプロフィール

## 1. ご家族の構成

山崎	太一	ご本人	1955年 12月 10日 生	62歳	会社員	
	琴美	奥様	1954年 12月 25日 生	63歳	パート	
	隼太	ご長男	1982年 8月 15日 生	35歳	会社員	独立。子1人。
	俊太	ご二男	1985年 5月 20日 生	32歳	会社員	独立。子1人。

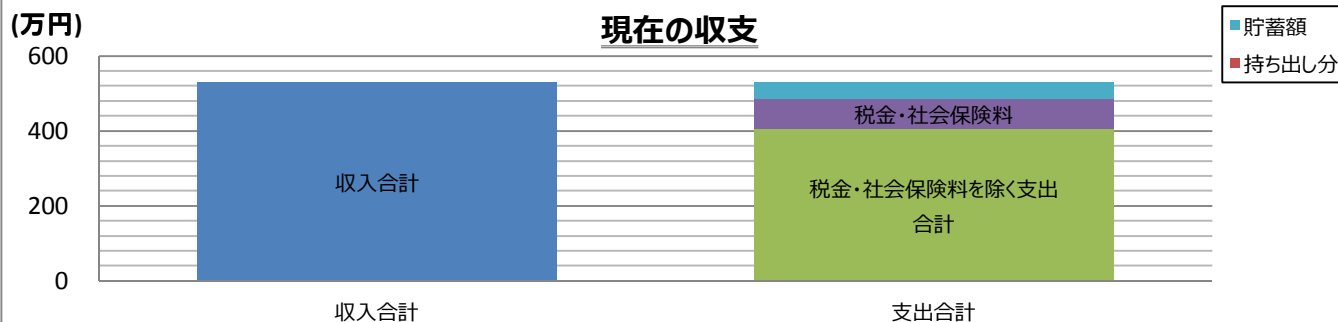
## 2. 現在の山崎様の収入と支出の状況

### 【収入】

給与収入（太一様）	400万円	2年前に定年退職し、65歳まで再就職。
給与収入（琴美様）	100万円	※扶養の範囲内で勤務
確定拠出年金	20万円	70歳まで支給
公的年金（太一様）	6万円	在職老齢年金
公的年金（琴美様）	5万円	在職老齢年金
<b>合 計</b>	<b>531万円</b>	
税金・社会保険料	▲79万円	
<b>可処分所得合計</b>	<b>452万円</b>	

### 【支出】

基本生活費	180万円	※2021年以降は自動車維持費10万円減少
住宅ローン	135万円	
その他住居費	14万円	
教育費	0万円	
生命保険料	29万円	
損害保険料	9万円	
その他の支出	40万円	
<b>合 計</b>	<b>407万円</b>	
貯蓄額	45万円	
持ち出し分		



### 3. 今後の山崎様の収入と支出の予定

#### 【収入】

##### ●今後の収入の予定


変動率（給与収入 太一様）：1.0%  
変動率（給与収入 琴美様）：0.0%

##### ●今後の収入の予定（年金について）

公的年金（太一様）		173万円	65歳～
確定拠出年金		20万円	60歳より、10年間支給
公的年金（琴美様）		67万円	65歳～
		73万円	66歳～

変動率（公的年金）：1.0%  
変動率（確定拠出年金）：0.0%

#### 【支出】

##### ●今後の支出の予定

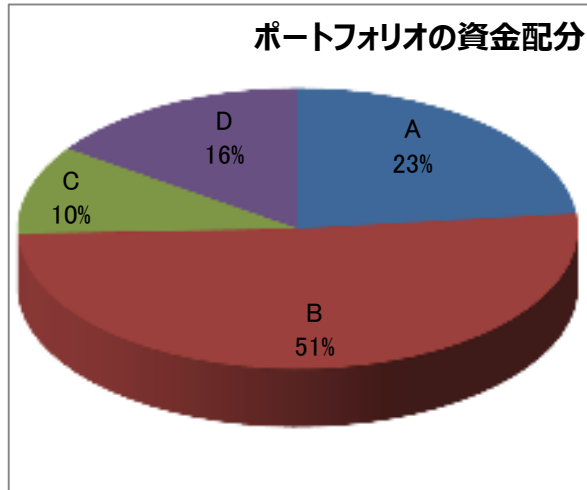
自宅の改修費用	300万円（68歳時）
旅行費用	40万円（65歳～75歳まで、2年おき）

変動率（基本生活費、その他の支出、一時的支出）：2.0%  
変動率（住居費、損害保険料）：1.5%  
※住居費及び、損害保険料は基本生活費に比べて上昇率は緩やかになるものと想定

#### 4. 金融資産

##### 【金融商品】

A 普通預金	455万円	0.001%
B 定期預金	1,000万円	0.150%
C 外貨預金	200万円	1.200%
D 投資信託	300万円	1.800%
E		
F		
G		
H		
I		
J		
K		
L		
M		
N		
O		
<b>合 計</b>	<b>1,955万円</b>	<b>0.476%</b>



##### 【不動産】

自宅 (土地・建物)	2,000万円
<b>合 計</b>	<b>2,000万円</b>

#### 5. 負債

##### 【住宅ローン】

FP銀行 700万円 5.000% 全期間固定金利 (30年間)、残りの借入期間：6年

##### 【その他借入】


## 6. 加入している保険

### 【生命保険】

保 険 会 社	ABC保険	XYZ保険	ABC保険
種 類	定期保険	医療保険	がん保険
契 約 者	太一様	太一様	太一様
被 保 険 者	太一様	太一様	太一様
受 取 人	琴美様	太一様	太一様
契 約 日	2005年12月	2007年11月	2007年11月
保 険 期 間	65歳まで	終身	終身
保 険 金 ( 共 済 金 )	死亡：1,000万円	入院給付金（1日目～）：5,000円/日 手術給付金：50,000円	診断給付金：100万円 入院給付金：10,000円/日 通院給付金：5,000円/日 手術給付金：10万円
保 険 料 ( 掛 金 )	7,000円/月	3,750円/月	5,500円/月
満 期 日			
備 考			

保 険 会 社	XYZ保険	ABC保険	
種 類	医療保険	がん保険	
契 約 者	琴美様	琴美様	
被 保 険 者	琴美様	琴美様	
受 取 人	琴美様	琴美様	
契 約 日	2010年1月	2010年8月	
保 険 期 間	終身	終身	
保 険 金 ( 共 済 金 )	入院給付金（1日目～）：5,000円/日 手術給付金：50,000円	診断給付金：100万円 入院給付金：10,000円/日 通院給付金：5,000円/日 手術給付金：10万円	
保 険 料 ( 掛 金 )	3,500円/月	4,500円/月	
満 期 日			
備 考			

**【損害保険】**

保 險 会 社	ABC損保	日本FP損保	
種 類	自動車総合保険	住宅総合保険	
契 約 者	太一様	太一様	
契 約 日	2017年9月	1993年2月	
保 險 期 間	1年	5年	
保 險 金	对人補償：無制限、対物補償：無制限	1,500万円	
保 險 料	50,000円	40,000円	
備 考		地震保険特約付加	

保 險 会 社			
種 類			
契 約 者			
契 約 日			
保 險 期 間			
保 險 金			
保 險 料			
備 考			



## Ⅱ. 山崎様のご希望・プラン作成の目的

### 1. 老後資金を確保できているのか知りたい

65歳までは、働くつもりでいるが、老後の生活資金を確保できるかどうかを確認したい。2人のお子様はすでに結婚しており、今後費用が掛かることはない。奥様もパートとして働いており、65歳まで働く予定にしている。60歳の時に1,000万円の退職金を受け取ったこともあり、老後資金については何となく大丈夫だとは思っているが、これからはご夫婦で旅行に出掛けるなど、レジャーや趣味を大切に暮らしたいと思っている。65歳から75歳まで2年に一度の旅行の費用として、40万円を予定している。生活費はそれほど使っているつもりはなく、これ以上節約を心がけることは難しい。

### 2. 住宅ローンをどうするべきか悩んでいる

住宅ローンが700万円残っているため、あと6年間払い込む必要がある。24年前に組んだ住宅ローンの金利は5%であり、借換えをするべきか、繰上返済をするべきかを悩んでいる。借換えを行った場合と全期間繰上返済を行った場合に、どの程度利息が安くなるのかを教えてください。

### 3. 老後の医療費が心配で、保障が十分かどうかをアドバイスしてほしい

老後の医療費負担が心配になり、55歳時に全面的に保険を見直した。現在加入中の保険は定期保険(山崎様65歳まで)、医療保険・ガン保険(山崎様・奥様共に加入)である。医療費に備えるための保障として十分かどうかをアドバイスしてほしい。

### 4. 今後の住居について、悩んでいる

現在の自宅は4LDKの戸建て住宅で、24年前に購入している。2人のお子様は独立した現在、ご夫婦二人には広すぎるように感じてきた。老後資金もいずれ足りなくなる可能性があるため、自宅の売却や賃貸に出すことも考えている。一方で、賃貸に出した場合、また住みたくなったときに再入居できるかどうか不安が残る。何か別に対処する方法があれば教えてください。また、このまま自宅に住み続けるのであれば、68歳時に自宅の改修費用として300万円を予定している。

### 5. お孫様の教育資金を出してあげたいが、自分たちの生活も不安に感じている

お孫様たちの教育資金を出してあげたいと思いつつ、自分たちの生活にも不安を抱いている。また、相続税も不安である。

### Ⅲ. 山崎家のライフイベント表

山崎家ご一家の今後の主なライフイベントを一覧表にしましたのでご確認ください。

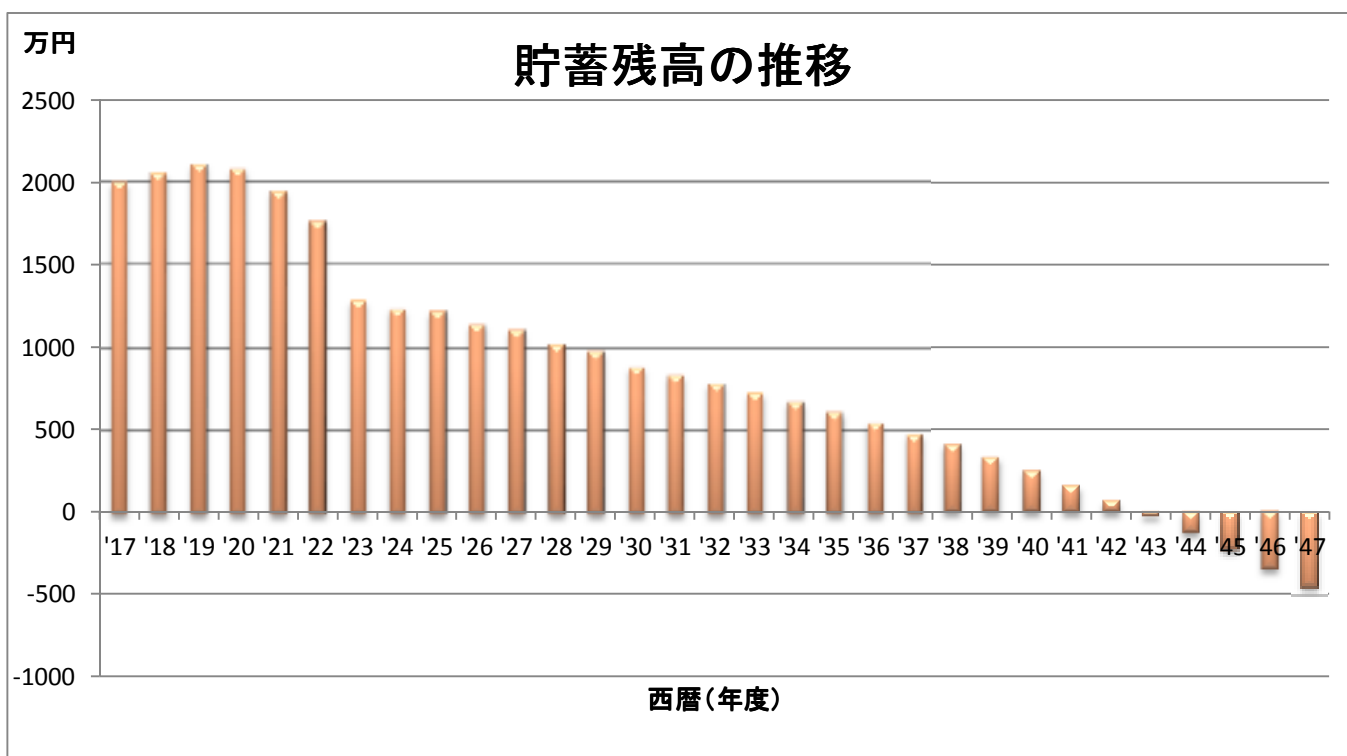
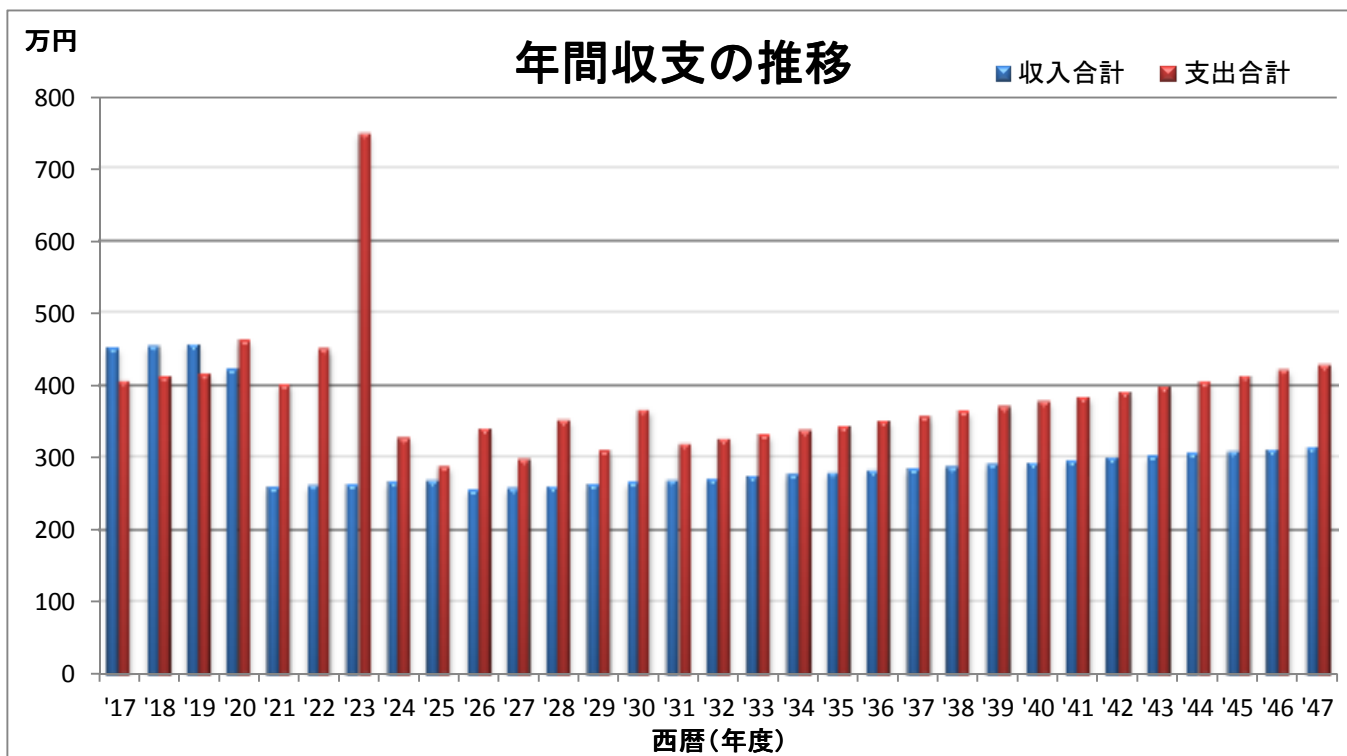
西暦	ご家族の年齢								ご家族のイベント	予算額 (万円)
	山崎 太一 様	琴美 様	隼太 様	俊太 様						
2017	62	63	35	32						
2018	63	64	36	33						
2019	64	65	37	34						
2020	65	66	38	35				山崎様のご退職・ご旅行	40	
2021	66	67	39	36						
2022	67	68	40	37				ご旅行	40	
2023	68	69	41	38				ご自宅の改修	300	
2024	69	70	42	39				ご旅行	40	
2025	70	71	43	40						
2026	71	72	44	41				ご旅行	40	
2027	72	73	45	42						
2028	73	74	46	43				ご旅行	40	
2029	74	75	47	44						
2030	75	76	48	45				ご旅行	40	
2031	76	77	49	46						
2032	77	78	50	47						
2033	78	79	51	48						
2034	79	80	52	49						
2035	80	81	53	50						
2036	81	82	54	51						
2037	82	83	55	52						
2038	83	84	56	53						
2039	84	85	57	54						
2040	85	86	58	55						
2041	86	87	59	56						
2042	87	88	60	57						
2043	88	89	61	58						
2044	89	90	62	59						
2045	90	91	63	60						
2046	91	92	64	61						
2047	92	93	65	62						

# IV. 現状のキャッシュフロー表

(金額の単位：万円)

経過年数 西暦(年度)	現在	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2044	2045	2046	2047						
家 族 構 成	夫 妻 長男 長女	63 64 36 33	64 65 37 34	65 66 38 35	66 67 39 36	67 68 40 37	68 69 41 38	69 70 42 39	70 71 43 40	71 72 44 41	72 73 45 42	73 74 46 43	74 75 47 44	75 76 48 45	76 77 49 46	77 78 50 47	78 79 51 48	79 80 52 49	80 81 53 50	81 82 54 51	82 83 55 52	83 84 56 53	84 85 57 54	85 86 58 55	86 87 59 56	87 88 60 57	88 89 61 58	89 90 62 59	90 91 63 60	91 92 64 61	92						
と 年 齢																																					
取 入	収入合計	452	455	458	423	259	262	264	267	289	256	288	261	264	267	289	271	274	280	283	285	288	291	294	297	300	303	307	309	312	315						
支 出	支出合計	407	412	416	463	402	451	749	328	288	341	298	353	310	367	320	327	332	344	351	357	365	371	378	384	392	399	406	414	422	429						
	基本生活費	180	184	187	191	184	188	191	199	203	207	211	216	216	220	224	229	233	243	248	253	258	263	268	273	279	284	290	296	302	308						
	住居費(ロ-ン)	135	135	135	135	135	135	135																													
	住居費(その他)	14	14	14	15	15	15	16	16	16	16	16	17	17	17	17	18	18	18	19	19	19	20	20	20	20	21	21	21	22	22						
	教育費																																				
	生命保険料	29	29	29	29	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21			
	損害保険料	9	9	9	9	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		
	その他の支出	40	41	42	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	57	58	59	61	62	63	64	64	66	67	68	70	71	72					
	その他-一時的支出						44	338	46		48	50																									
	年間収支	45	43	42	-40	-143	-189	-485	-61	-19	-85	-40	-92	-46	-100	-51	-56	-58	-61	-64	-68	-72	-77	-80	-84	-87	-92	-96	-99	-105	-110	-114					
	貯蓄残高	2,000	2,053	2,105	2,076	1,943	1,764	1,238	1,233	1,220	1,141	1,107	1,021	980	885	838	786	732	675	614	549	480	405	327	245	159	68	-28	-127	-232	-342	-456					

現在の年間収支と貯蓄残高の推移



## V. 現状の問題点

現状のキャッシュフロー表によってキャッシュフロー分析を行った結果、山崎様が予測されましたとおり、山崎様と奥様の老後生活資金については、経過年数3年(2020年)以降の年間収支は一貫してマイナスに陥り、貯蓄を取り崩して生活を行うこととなります。

退職後に貯蓄を取り崩して生活を行うこと自体は自然な流れではありますが、大きな問題は、経過年数26年(2043年)以降において、貯蓄残高も赤字に陥ってしまうことが挙げられます。この状況のまま推移しますと、資金不足となることから、山崎様が希望されているご旅行や住宅の改修などのライフイベントを実現することが難しくなるかもしれません。

### (1) 収入について

ご夫婦そろって60歳代ではありますが、お2人とも仕事に就いており、現時点の問題は生じません。しかし、収入が公的年金のみになると、奥様が平均余命を迎える前に貯蓄残高がマイナスとなってしまいます。

### (2) 住宅ローンの繰上げ返済と借換えについて

再就職先を退職したあとでも、住宅ローンの支払いは続きます。山崎様の住宅ローン金利は5%と現在の金利水準と比べて高く設定されています。

#### <山崎様の住宅ローンの内容>

当初借入金額2,100万円 返済期間30年(2023年まで) 返済回数360回 固定金利5%

### (3) 生命保険の見直しについて

経過年数4年(2021年)以降、夫婦2人分で毎年約21万円の医療保険とがん保険を支払い続けると、経過年数30年(2047年)における支払総額は500万円を超えてしまいます。

### (4) ご自宅の売却と賃貸について

ご自宅を売却した場合であっても、賃貸住宅等にお住みになるわけですから、賃料の負担が生じます。平均余命まで賃料を払い続ける場合、資金的に厳しくなるおそれがございます。

### (5) お孫様への贈与について

貯蓄がマイナスになる状況で、お孫様への贈与を行うと、さらにキャッシュフローが厳しくなってしまいます。

## VI. 問題点に対する解決策

### (1) 収入について

○老齢年金の繰下げ受給

.....  
.....  
.....

### (2) 住宅ローンの繰上げ返済と借換えについて

○繰上返済

.....  
.....

○借換え

.....  
.....

<現在の借入ローンと借換え後のローン比較>

\*表省略\*

### (3) 生命保険の見直しについて

.....  
.....  
.....

### (4) ご自宅の売却と賃貸について

.....  
.....  
.....

### (5) お孫様への贈与について

.....  
.....  
.....

## Ⅶ. 解決策導入の効果

収入面と支出面の両方から対策を実行することにより、経過年数30年(2047年)時点において、貯蓄残高は555万円と黒字のまま維持することが可能になりました。キャッシュフロー表の改善状況については、解決策導入後のキャッシュフロー表をご覧ください。

### (1) 導入後の効果

○老齢年金の繰下げ受給

.....  
.....  
.....

○住宅ローンの繰上げ返済

.....  
.....

○生命保険の見直し

.....  
.....  
.....

○ご自宅について

.....  
.....  
.....

### (2) 資産運用による効果

.....  
.....  
.....

### (3) リバースモーゲージの活用効果

.....  
.....  
.....

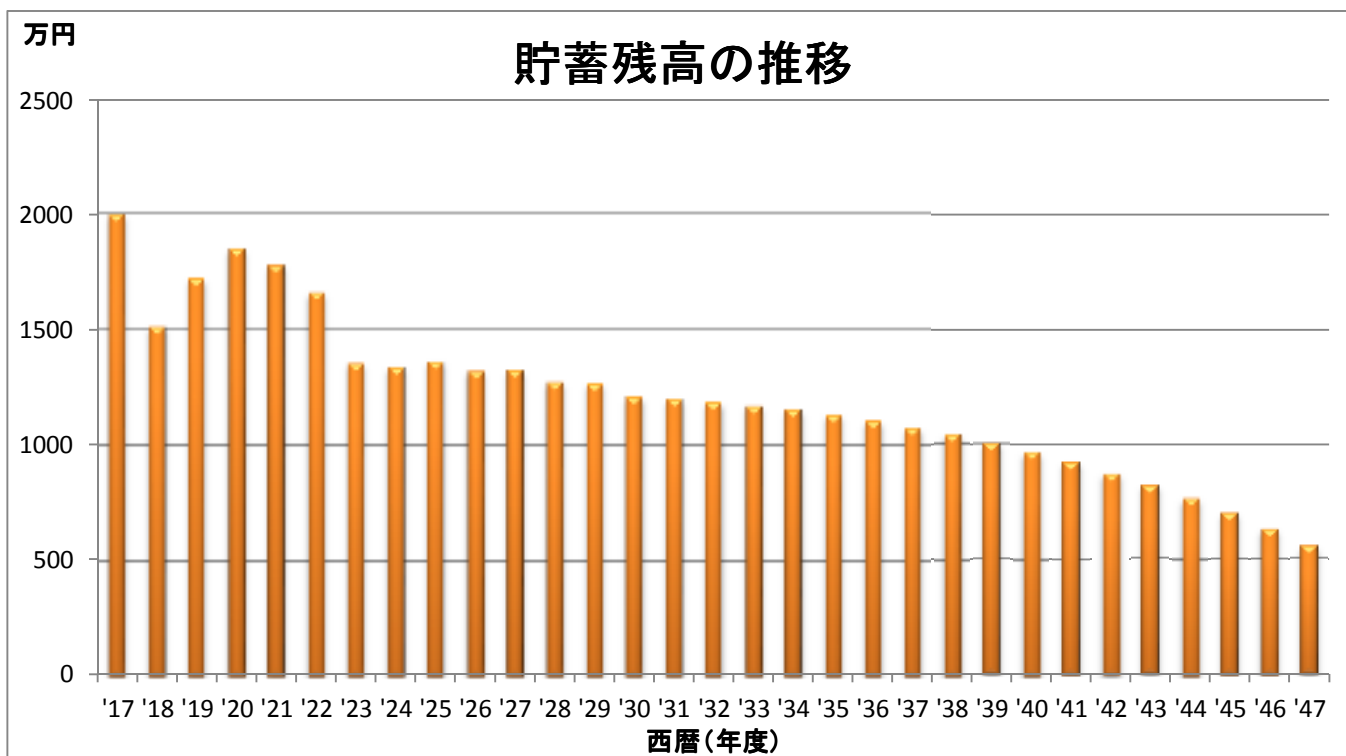
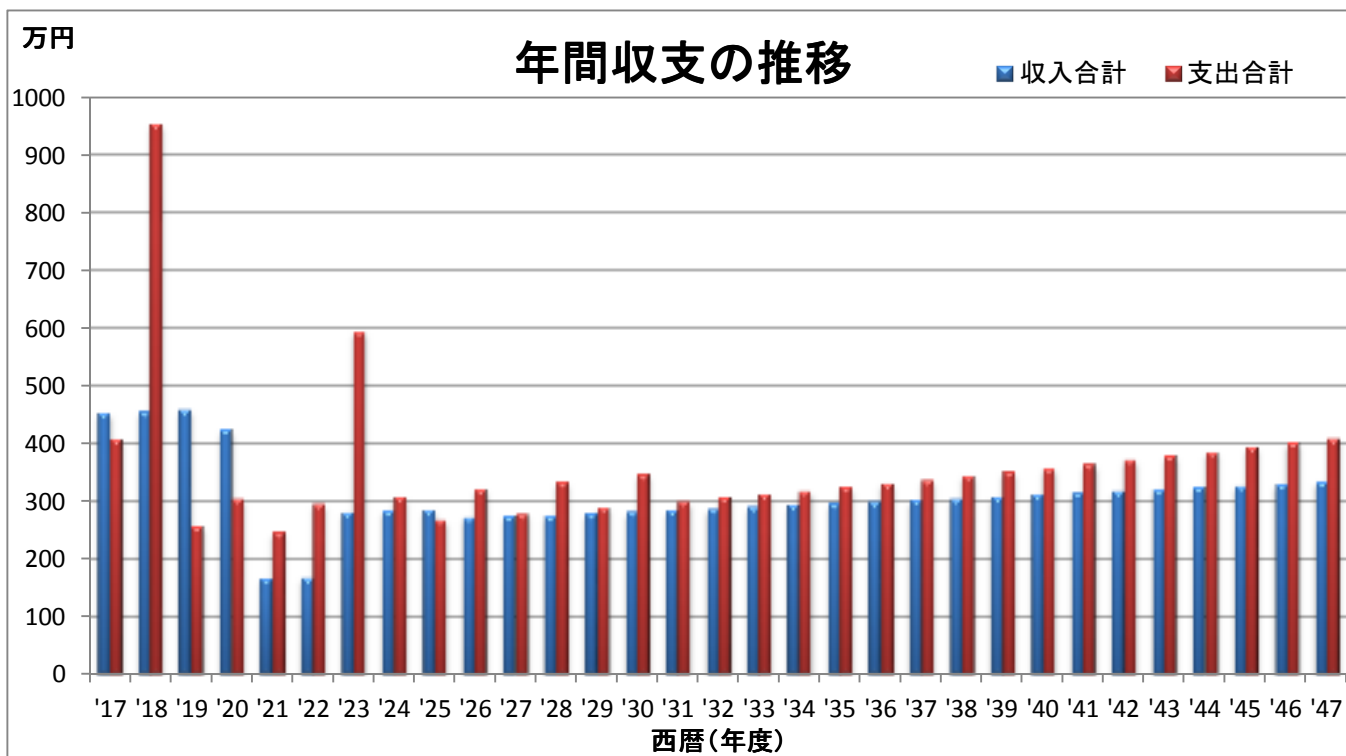
Ⅷ. 解決策導入後のキャッシュフロー表

(金額の単位：万円)

経過年数	年																																
	現在	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048
西暦(年度)	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	
家	夫	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	
族	妻	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	
構	長男	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	
成	長女	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
と																																	
年																																	
齢																																	
収入	収入合計	452	455	458	423	165	167	280	283	285	271	273	275	278	281	283	286	290	293	296	299	301	304	307	311	314	317	320	324	326	329	333	
支出	基本生活費	180	184	187	191	184	188	191	195	199	203	207	211	216	220	224	229	233	238	243	248	253	258	263	268	273	279	284	290	296	302	308	
	住居費(ロ-)	135	700																														
	住居費(その他)	14	14	14	15	15	15	15	16	16	16	16	16	17	17	17	18	18	18	18	19	19	19	19	20	20	21	21	21	22	22		
	教育費																																
	生命保険料	29	4	4	4																												
	損害保険料	9	9	9	9	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	その他の支出	40	41	42	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	61	62	63	64	66	67	68	70	71	72	
	その他一時的支出																																
	支出合計	407	952	256	303	246	295	593	307	267	320	277	332	289	346	299	306	311	317	323	330	336	344	350	357	363	371	378	385	393	401	408	
	年間収支	45	-497	202	120	-81	-128	-313	-24	18	-49	-4	-57	-11	-65	-16	-20	-21	-24	-27	-31	-35	-40	-43	-46	-49	-54	-58	-61	-67	-72	-75	
	貯蓄残高	2,000	1,513	1,723	1,851	1,779	1,660	1,356	1,338	1,363	1,321	1,324	1,273	1,269	1,210	1,200	1,186	1,171	1,153	1,131	1,106	1,077	1,042	1,004	963	919	870	816	759	696	627	555	



## 対策後の年間収支と貯蓄残高の推移



## おわりに

山崎様のご希望と目標を前提に、リタイアメントプランについて、以上のとおりご提案いたしました。本提案書をお読みいただきまして、今後の状況と問題点を具体的に把握なさっていただけたのではないのでしょうか。山崎様のご希望や目標を叶えるために、解決策導入後のキャッシュフロー表では、繰上返済や公的年金の繰下受給をはじめ、保険の見直しを通して、経過年数30年(2047年)の貯蓄残高は555万円ほどになりました。

以上の対策に加えて、リバースモーゲージを活用し、新たに●万円を借り入れることにより、更に金銭的な余力を持たせることが可能になります。もしかしたら、施設に入居するなど、大きな資金が必要になることがあるかもしれません。ある程度余裕を持った資金計画を立てますと、安心して暮らすことができるかと思えます。

また、奥様は65歳を過ぎても現在の半分程度で働いてもよいとおっしゃっていましたが、今回は65歳で仕事をやめるという前提で試算を行いました。状況に応じてさらに働くかどうかをお決めになるとよいと存じます。

今回ご提案をさせていただきましたが、時が経つと状況も変わってくるものです。たとえば、老齢厚生年金の繰下げ受給時など、もしかしたら増額率や繰下げ可能期間などが変化していることも考えられます。一度対策を立てても、そのときの状況に合わなくなっている恐れもございます。5年に1度など一定期間ごとに見直しをしていくことをお勧めいたします。

山崎様ご夫婦が幸せなリタイア後の生活を送れますよう、お力になりたいと考えております。ご不明な点などございましたら、どうぞご遠慮なさらず、連絡をいただけたらと存じます。これからの人生をよりよいものにしてまいりましょう。

AFP認定者  
協会 太郎

東京都●●区○○△△××

電話 03-××××-××××

FAX 03-××××-××××

電子メール ××××@△△△.ne.jp